

# 富山市消防のあらまし



# 令和3年度 富山市消防業務推進重点目標

## ◆重点目標【人にやさしい安心・安全なまちづくり】

### 〈重点方針1〉火災予防対策の推進

- ① 住宅防火対策の推進
- ② 事業所の防火安全対策の推進
- ③ 放火火災等防止対策の推進

### 〈重点方針2〉多様な災害や事故への対応能力の強化

- ① 危機管理体制の充実
- ② 災害現場活動能力の向上
- ③ 震災時等における消防体制の強化
- ④ 救急体制の充実

### 〈重点方針3〉応急手当の普及啓発

- ① 応急手当の普及啓発の推進
- ② 救急需要対策の推進

### 〈重点方針4〉地域における消防拠点の整備と機能強化

- ① 常備消防拠点施設の整備
- ② 消防団の充実強化
- ③ 隣接消防との連携・協力

### 〈重点方針5〉人材の育成・消防広報の推進

- ① 職員研修の充実
- ② 団員研修の充実
- ③ 広報活動の推進

## 1. 富山市消防のあゆみ

平成17年 4月 1日	富山地域7市町村が合併し、新「富山市」が誕生。これに伴い富山市消防局（定数445名）及び富山市消防団（定数2,649名）が発足した。 富山市消防局通信指令課の隔日勤務者を2名増員し、18名から20名体制とした。 市町村合併により、119番通報を集中受信できるよう指令システムを再編し、運用を開始した。
平成17年 5月29日	富山市消防団結団式を富山第一ホテルにおいて挙行了した。
平成17年 7月 1日	一般公募により女性消防団員23名が、富山方面団・北部方面団・呉羽方面団・水橋方面団各団本部に入団した。
平成17年10月 5日	第11回全国女性消防団員活性化富山大会が富山市芸術文化ホールで開催され女性消防団員等が参加協力した。
平成17年10月20日	第17回全国女性消防隊消防操法大会が横浜市訓練センターで開催され、富山県の代表として富山市大沢野女性消防隊が出場した。
平成17年10月26日	携帯電話での119番通報が代表受信方式（県内3本部）として受信していたが各管轄の消防本部へ、直接通報が入る「直接受信方式」に変更された。
平成17年12月15日	富山方面団五番町分団を同場所において改築した。
平成18年 3月 1日	八尾方面団本部に女性消防団員10名が入団した。
平成18年 4月 1日	職員定数を445名から474名に増員した。 婦中方面団本部に女性消防団員5名が入団した。
平成18年 5月 1日	八尾消防署に配置されていた救助工作車を大沢野消防署に配置換えした。
平成18年 6月30日	富山消防署北部出張所に配置されていたはしご車（15m）を富山消防署東部出張所へ配置換えした。
平成18年 7月 5日	富山消防署東部出張所が東石金地内から中市地内へ移転新設し、竣工式が挙行された。
平成18年 8月	鉄軌道敷内及び沿線等で災害が発生した場合、安全で迅速な災害防除活動及び公共交通機関の早期運転を再開するため、各機関との鉄道災害時の安全対策に関する覚書を締結した。 ・8月10日 富山ライトレール株式会社 ・8月29日 富山地方鉄道株式会社 ・9月30日 西日本旅客鉄道(株)金沢支社、日本貨物鉄道(株)金沢支店
平成18年12月25日	細入地域に分遣所を新築し、大沢野消防署細入分遣所として開所式を挙行了した。  また、消防ポンプ自動車1台、高規格救急車1台を配置し運用を開始した。
平成18年12月26日	大沢野消防署細入分遣所の竣工式を挙行了した。
平成19年 1月 7日	平成19年富山市消防出初式の会場を城址大通り、式典会場を富山県民会館に変更し挙行了した。また、今年度より消防演技に裸放水を追加した。
平成19年 1月22日	富山方面団清水町分団置場を同場所において改築した。
平成19年 3月12日	富山方面団太田分団置場を太田地内にて移転新築した。
平成19年 3月25日	能登半島地震が、9時42分に発生した。 富山市消防局から7隊25名を富山県緊急消防援助隊へ派遣した。 派遣先は、石川県輪島市門前地区。 派遣期間は、3月25日、26日。

平成19年 5月17日	地域住民や消防団員を雇用する事業所等の関係者に、消防団活動に対する理解と協力を得て、団員の加入促進と消防団活動を一層活性化させ、防火思想のさらなる普及を図るため、富山市消防団活性化大会をオーバードホールで開催した。
平成19年10月21日	今年度から初めてとなる富山市消防団新任消防団員研修会を消防局にて実施した。
平成19年10月29日	災害防ぎょ活動時等における、通信体制の充実を図るため、大沢野署、大山署、八尾署、婦中署の携帯型無線機（43台）の再配置及び廃棄した無線機4台を復活させ各署所へ再配置を実施した。
平成19年11月 9日	携帯電話・IP電話の「位置情報通知システム」を運用開始した。
平成19年11月29日	婦中消防署山田分遣所の竣工式を挙行政した。
平成19年12月 3日	呉羽方面団長岡分団置場を同場所において改築。
平成19年12月23日	富山市消防音楽隊創立25周年記念演奏会を富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）で開催した。
平成20年 1月23日	火災が多発したことにより、市長記者発表を行い、「火災多発警報」を発令した。
平成20年 2月18日	生物・化学災害消防活動計画を新たに策定し、運用を開始した。
平成20年 3月 6日	富山方面団山室分団置場を中川原地内から秋吉地内へ移転新築した。
平成20年 3月 7日	自治体消防制度60周年記念式典が日本武道館で開催され、富山市消防団長以下14名が出席した。
平成20年 3月27日	大山消防署小見分遣所の竣工式を挙行政した。
平成20年 4月 1日	再任用制度を初めて導入し、再任用職員を5名配置した。
平成20年 5月31日	自治体消防制度60周年富山県記念式典をとやま自遊館ホールで開催し、招待者及び消防団員が約700名出席した。
平成20年 8月 9日	自治体消防制度60周年記念富山県防火・防災推進大会が富山県民会館で開催され、県知事特別表彰として、富山市から消防功労4名、永年勤続功労116名が受賞した。
平成20年 9月24日	女性消防吏員の隔日勤務に対応するため、富山市消防局・富山消防署合同庁舎2階女性更衣室を改修した。
平成20年 9月30日	富山消防署の救助隊を高度救助隊に位置付けるにあたり、発隊式を実施した。
平成20年10月 1日	中核市に配置される高度救助隊に必要な地震警報器等の高度救助資機材を整備し、富山消防署の救助隊を増員して高度救助隊を設置、運用を開始した。
平成20年10月 1日	地域防災体制のより一層の充実を図るため、消防団に積極的に協力している事業所等に対し、「富山市消防団協力事業所表示制度」を開始した。
平成20年11月11日	富山市消防団協力事業所表示制度の表示証交付式を初めて挙行政し、34事業所を11月1日付けで協力事業所に認定した。
平成20年12月11日	五福分団器具置場を同場所において改築した。
平成20年12月24日	草島分団器具置場を同場所において改築した。
平成21年 3月27日	星井町分団器具置場を同場所において改築した。
平成21年 8月21日	富山市は、二酸化炭素排出量の削減を図るため、走行時に温室効果ガスを排出しない電気自動車3台を導入。うち1台が富山消防署へ配備された。
平成21年12月 9日	「国際消防救助隊出動体制の基本を定める要綱」及びそれに基づく「国際消防救助隊編成協力市町村に関する基準」の改正に伴い、消防庁長官から国際消防救助隊編成協力市町村の登録を受けるとともに、6名を国際消防救助隊員に登録した。

平成21年12月10日 水橋消防署が水橋柳寺地内から水橋館町地内へ移転新築し、運用開始した。

平成21年12月 4日 広田分団器具置場を鍋田地内に移転新築した。

平成21年12月12日 水橋消防署竣工式を挙行政した。

平成22年 2月25日 平成21年度総務省消防庁消防団協力事業所表示証を日本カーボンエンジニアリング(株)と、山田村農業協同組合が富山市で初めて交付を受け、東京のニッショーホールで伝達式が行われた。

平成22年 2月26日 蟻川分団器具置場を同場所において改築した。

平成22年 4月 1日 富山市消防団として初の女性分団となる富山女性分団(17名)、大沢野女性分団(20名)を結成し、辞令交付式を挙行政した。  
平成21年12月9日に登録した国際消防救助隊の隊員証交付式を挙行政した。

平成22年 5月31日 富山市消防団長の佐伯光一氏が(勲)富山県消防協会長に就任した。

平成22年11月12日 第22回全国消防操法大会が愛知県で開催された。  
開催場所 愛知県蒲郡市竹谷町太田新町1-1 蒲郡ボートレース場  
出場隊 ポンプ車の部 草島分団 入賞(優良賞)

平成22年12月27日 浜黒崎分団器具置場を同場所において改築した。

平成22年12月28日 保内分団(三田)器具置場を同場所において改築した。

平成23年 1月30日 呉羽消防署仮設庁舎を同敷地内に建設し、運用を開始した。

平成23年 3月11日 東北地方太平洋沖地震が、14時46分に発生した。  
富山市消防局から延べ39隊160名を富山県緊急消防援助隊へ派遣した。  
派遣先は、宮城県名取市。  
派遣期間は、3月11日から4月13日。  
地震・津波・原発等の甚大な被害をもたらした、東日本大震災であった。

平成23年 4月13日 3月11日から派遣していた緊急消防援助隊富山県隊の解隊式が消防局で行われた。

平成23年 5月27日 消防救急無線のデジタル化に係る、「県内の広域化・共同化に係る全体計画」を作成することを目的に、富山県消防救急無線デジタル化協議会が設立・開催された。

平成23年12月21日 呉羽分団器具置場を同場所において改築した。

平成23年12月22日 神明分団器具置場を同場所において改築した。

平成23年12月25日 呉羽消防署を同場所において改築し、運用を開始した。

平成24年 2月 1日 宮城県知事及び名取市長から感謝状を受領した。(伝達式)

平成24年 3月 1日 消防総合指令システム部分更新に伴う運用を開始した。

平成24年 3月24日 呉羽消防署竣工式を挙行政した。

平成24年12月21日 富山市消防音楽隊創立30周年記念演奏会を富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)で開催した。

平成25年 1月11日 山田北部分団器具置場を山田小島地内に新築した。

平成25年 7月 1日 新富山市消防団長に、宮本光明氏が就任した。

平成25年11月14日 鶴坂分団器具置場を婦中町田島地内に移転新築した。

平成26年 3月20日 新庄分団器具置場を同場所において改築した。

平成26年 9月27日 長野県と岐阜県の県境に位置する御嶽山(標高3,067m)で11時25分頃に噴火災害が発生した。  
富山市消防局から3隊13名を富山県緊急消防援助隊へ派遣した。  
派遣先は、長野県王滝村 御嶽山  
派遣期間は、10月14日から10月17日。  
戦後最大の人的被害をもたらした噴火災害であった。

平成26年11月22日	長野県北部地震が、22時08分頃に発生した。 富山市消防局から5隊21名を富山県緊急消防援助隊へ派遣した。 派遣先は、長野県白馬村。 派遣期間は、11月23日。
平成26年11月26日	東部分団器具置場を同場所において改築した。
平成27年 1月28日	富山消防署に15mはしご車を配置し、運用を開始した。
平成27年 3月18日	藤ノ木分団器具置場を開地内において移転新築した。
平成27年 4月26日	4月25日15時11分ネパール連邦民主共和国の首都カトマंडゥから北西約80kmの地域でマグニチュード7.8の強い地震が発生した。 消防庁長官からの派遣要請を受け、富山市消防局から1名を国際消防救助隊へ派遣した。 派遣先はネパール連邦民主共和国 首都カトマंडゥ 派遣期間は、4月26日から5月9日。
平成27年10月26日	四方分団置場を四方荒屋地内に移転新築した。
平成27年11月 8日	富山北消防署和合出張所を四方荒屋地内に移転新築した。
平成27年12月 7日	水橋西部分団器具置場を同場所において改築した。
平成28年 4月 1日	救急需要の増大や、救急の高度化に対応するため、富山消防署及び富山北消防署の「庶務救急課」を「救急課」に変更し、他の署や分署、出張所には「救急係」を新設、また、警防課の「救急救助係」は「救急係」に変更した。
平成28年 4月 1日	消防救急デジタル無線の運用を開始した。
平成28年11月22日	西田地方分団器具置場を西田地方町二丁目地内に移転新築した。
平成28年11月29日	音川分団器具置場を婦中町外輪野地内に移転新築した。
平成29年 2月 1日	富山市消防団員等応援事業を導入した。
平成29年 2月 1日	富山市学生消防団活動認証制度を導入した。
平成29年 2月24日	水橋消防署に資機材搬送車を配置し、運用を開始した。
平成29年10月 7日	八尾消防署を八尾町福島地内に移転新築した。
平成29年11月29日	神保分団器具置場を同場所において改築した。
平成29年12月 8日	堀川分団器具置場を同場所において改築した。
平成29年12月22日	富山市消防音楽隊創立35周年記念演奏会を富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）で開催した。
平成30年 7月 6日	富山北消防署海上分遣所に水上バイクを配置し、運用を開始した。
平成30年 7月 7日	自治体消防制度70周年富山市記念式典を富山国際会議場で開催し、招待者及び消防団員が約600名出席した。
平成30年12月 5日	熊野分団（婦中）器具置場を婦中町堀地内に移転新築した。
令和 2年 2月28日	月岡分団器具置場を同場所において改築した。
令和 2年 3月12日	上条分団器具置場を水橋石割地内に移転新築した。
令和 2年 4月 1日	消防総合情報管理システムを更新し運用を開始した。
令和 2年 7月28日	大沢野消防署を同場所において改築し、運用を開始した。
令和 3年 3月18日	倉垣分団器具置場を同場所において改築した。
令和 3年 3月28日	大沢野消防署竣工式を挙行了した。